

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	4070501541		
法人名	医療法人社団 天翠会		
事業所名	グループホーム みどり		
所在地 (電話番号)	福岡県北九州市小倉南区上吉田三丁目16番1号 (電話) 093 - 471 - 3711		
評価機関名	特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会		
所在地	福岡県北九州市小倉北区真鶴二丁目5 - 27		
訪問調査日	平成21年1月29日	評価確定日	平成21年2月19日

## 【情報提供票より】( 21 年 1 月 7 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 6 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 15 人, 非常勤 2 人, 常勤換算	7

### (2) 建物概要

建物形態	併設 / 単独	新築 / 改築
建物構造	鉄骨 造り	
	2 階建て	1 階 ~ 2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	43,333 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷 金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 200,000 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月 当たり 40,000 円			

### (4) 利用者の概要( 1 月 7 日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	7 名	要介護2	3 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82 歳	最低 73 歳	最高 93 歳		

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	松尾病院 小野クリニック 松井病院 三好歯科医院
---------	--------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然環境が残る住宅団地内の広い敷地の一角に、グループホームみどりがある。和風の趣の庭を通り玄関を入ると、中庭を取り囲むように居室、居間等が配置され、大きな窓からは自然の光が差し込んでいる。廊下のいたるところに、座り心地の良い長椅子が置かれ、利用者は好みの場所で思い思いの時間を過ごすことができる。隣接するデイサービスの利用者と一緒に、行事を行うことも多く、生活に活気を与えている。医療法人が母体のホームで、看護師の資格を持つ管理者がいて、健康管理には細心の注意を払っている。職員は利用者と家族の支援者であり、家族の思いに寄り添うことも大切と考え、家族会を開き、方針や考えを伝えたり、機会在るごとに家族に働きかけている。職員全員が、和を大切に、利用者の意向に沿いながら優しく接している。研修会への参加やホーム内での勉強会も積極的にを行いサービスの質の向上に努めている。また、地域の一員としての活動も活発で、地域に根ざしたホームを目指し、日々努力している。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善課題は、運営に関する家族の意見の反映と計画的な研修の実施の2項目だった。管理者、職員は外部評価の結果を回覧し、改善に向けて取り組み、ホームへの意見や要望を出して頂けるように働きかけている。研修への参加も希望を優先し全員が交代で参加している。今後は「評価の意義と活用」「看取りの指針の作成」「運営に関する家族等意見の反映」等に取り組むことが望まれる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価票は、職員の意見を聴き、管理者がまとめて作成した。自己評価作成に取り組むことで、日々のサービスの振り返りになり、評価の意義が理解出来ている。今後は、日頃のサービス内容の気づきを更に促す為にも、職員一人ひとりが自己評価票を分担して作成し、協議した上で完成させるなどの取り組みが望まれる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>会議は地域代表、地域包括支援センター職員、民生委員、利用者、家族の代表をメンバーに2ヶ月に1回開催している。ホームの状況報告を行うと共に、ホームに対する意見、要望を積極的に聴いている。地域との関係を深める為のメンバーからの提案も多く、この会議で得たアドバイスをもとに、地域の消防隊も参加した避難訓練の実施、地域包括支援センターを中心としたグループホーム協議会への参加など、ホームの運営、サービスの向上に反映させている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>各ユニットの玄関に意見箱を設置し、積極的に意見、苦情、要望を出してもらいようをお願いしている。管理者や職員は、ホームへの意見や要望を出して頂けるように、働きかけをしている。市の介護相談員の派遣も活用しているが、家族からの苦情は出ていない。今後も、引き続き家族の率直な意見がサービスに反映されるよう、家族会を中心にして、遠慮なく意見が言える雰囲気をつくるなどの取り組みが期待される。</p>
重点項目	<p>地域の夏祭り、子供祭りに参加し、地域の文化祭には作品を出展するなど地域との交流を深めている。また、近くの保育園児の訪問、ボランティアの受け入れも歓迎している。自治会に加入し町内の清掃活動に参加したり、公園への散歩時には利用者と職員と一緒に草取りをしたり、ホームの避難訓練を、地区消防団の協力を得ての実施等で、地域との連携、交流を図っている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	和を大切にしたい家庭的な雰囲気の中で、利用者が安全に安心して地域の方々と交流を深めながら、その人らしく生活できるように支援することを明確にした理念である。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を利用者、家族の目に触れるところに掲げると共に、職員のロッカールームにも掲げている。毎朝の申し送り時に全員で唱和し理念を確認した後、サービスを開始している。また、理念を実践に結び付けているか確認する為の「ホーム内でのくらし支援、介護の基本実行」表を作成し、毎日振り返りしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の夏祭り、子供祭りに参加し、地域の文化祭には作品を出展している。地域に出かけるだけでなくボランティアの受け入れ、近隣の保育園児と利用者のふれあいの時間を持つなど相互の交流を深めている。地域の一員として自治会に加入し町内の清掃活動にも参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義を職員研修会で学び、理解した上で改善に向けて取り組み、前回の改善課題はほぼ達成している。自己評価票については職員の意見を聴き管理者がまとめている。		自己評価票を職員一人ひとりが作成することにより、日頃気づいていないことが見え、自覚を促すことにも繋がるため、今後の取り組みを期待したい。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、地域代表、地域包括支援センター職員、民生委員、利用者、家族代表のメンバーで開催している。ホームの取り組み等を報告すると共にホームへの要望、意見を積極的に聴いている。この会議で得たアドバイスをもとに、地域行事への参加、消防隊も参加しての避難訓練、グループホーム協議会への加入などホームの運営に活かしている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターが中心となり、グループホーム協議会に加入し情報交換をしている。市の介護相談派遣事業も活用している。ホームの運営でわからないことがあると、市の担当窓口に出かけ相談するなど連携し、サービスの向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
7	10	権利擁護に関する制度の理解活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業や成年後見制度の研修会に積極的に参加し、参加者は、伝達研修会を開き知識の共有をはかっている。現在この制度を理解し、活用している利用者がいて、必要な時に必要な対応ができるよう努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の金銭管理の報告時に、利用者の状況を伝えると共に、家族の面会時には利用者のホームでの状態を積極的に伝えるようにしている。ホーム便りは写真の掲載で個人情報の保護が保てないのでは、との考えもあり結論が出るまで一時休刊としている。		
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各ユニットの玄関前にそれぞれ意見箱を設置し、家族会も昨年は8月と12月に開催した。折に触れ苦情や要望を出していただけるように働きかけ、家族会の場で要望など聴くため職員も参加しているが家族からの苦情はきかれない。		意見や苦情は言い難いという家族の心情を考え、家族だけの家族会の運営などで家族が自由に不満や、苦情を表せる機会をつくる取り組みが望まれる。
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動による利用者のダメージを与えない為に、ユニット間の職員の交流を密にし馴染みの関係をつくっている。また、利用者一人ひとりに担当を決め、気軽に意見の表出が出やすいように配慮している。		
11	19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は職員の募集採用にあたっては性別や年齢などを理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きと勤務し社会参加や自己実現の権利が十分に保障	職員の採用にあたり、性別、年齢などの制限はない。定年後も働くことが可能で、個人の能力、資格、経験が活かせる環境にある。産休に続き、育児休暇をとる職員がいるが、安心して休める体制が整えられている。		
12	20	人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員などに対する人権を尊重するために、職員などに対する人権教育、啓発活動にとりこんでいる	職員は人生の先輩である利用者に敬意を持った態度で接し、言葉遣いや態度等利用者の人権を損なうような支援がなかったか、毎日チェックリストを用い振り返りを行っている。また、行政等の実施する人権研修会に参加し、参加者が法人内で伝達研修をし全員が知識を共有している。		
5. 人材の育成と支援					
13	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	行政等が実施する研修、法人内での研修、グループホーム協議会での研修、毎月の勉強会と学ぶ機会は多い。外部の研修は希望を優先し参加しやすい支援が行なわれ、働きながらの資格取得も可能である。管理者は職員の相談ごとに耳を傾けアドバイスをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
14	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム協議会に加入し、勉強会に参加したり意見交換をしている。現在は主に管理者が参加しているが、今後は職員間の意見交換会、ホームの相互訪問も考えている。		
<b>・安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に利用者と一緒に食事を共にし、見学を経て入居に至るなど、徐々に慣れていただくように支援している。利用者一人ひとりに担当職員を決め、入居当初は担当者が密に関われるように勤務ローテーションを工夫している。馴染みの関係が築かれるまでは家族に面会の依頼をしたり協力を得ることもある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に学び、支えあう関係を大切に利用者へ接している。利用者のペース、利用者の自主性を尊重し、見守りながら支援をするように心がけている。ホームに入居後に、要介護度が改善された利用者もあり、支援する側、される側という意識を持たない関わりが利用者の自立にも繋がっている。		
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
17	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族と一緒にアセスメント記録を作成するなど、利用者の思いや意向の把握に努めている。利用者一人ひとりに関心を寄せ、意向の把握方法を具体化したチェック表を作成し、自己の行動の振り返りを行っている。利用者のペースに合わせ、待つことで利用者の思いが伝わってくると職員は話している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の状態を最もよく知る担当者を中心に話し合い、計画を立案している。家族との面会時の関わりの中から得た情報も計画に反映させている。		
19	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一度計画の見直しを行い、利用者の状態に変化が見られたときはその都度見直し、常に現状に即した計画になるようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療法人を母体としたグループホームであり、健康面の支援も充実している。また、かかりつけ医の受診支援も家族の要望を聞きながら柔軟に対応している。併設しているデイサービスの利用者との交流も盛んで利用者の生活の活性化にも繋がっている。		多人数の人が同時に入れる足湯の設備があり、ホームの持っている施設、人材を家族や地域との交流に活かした取り組みを期待したい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に協力病院の説明をし、月二回の往診も実施しているが、利用者、家族の意向を尊重しかかりつけ医を優先している。初回の受診時には必ず職員が付き添い、その後の受診は家族と相談しながら柔軟に対応している。		
22	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の対応や、終末期の対応については本人、家族に説明し理解を得ている。状態の変化時はその都度話し合いをし、関係者全員が方針を共有している。終末期は、設備や人材が整った医療施設で迎えることが、家族にとっても悔いが残らないのではとの考えから看取りはしていない。		利用者、家族の意向を踏まえホームでできること、できないことを見極め、家族も安心して納得した最期を迎えられるような看取りの指針の作成が望まれる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
23	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることがないように、職員は細心の注意をはらっている。記録類は一括保管し、ボランティアからも個人情報に関する誓約書を取り、プライバシーの確保を徹底し、排泄の誘導もさりげなくされている。		
24	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日のスケジュールはあるが、利用者の状況やペースに合わせて柔軟に対応している。買い物や外出もなるべく利用者の希望に沿うよう支援している。利用者の自主性を尊重する姿勢を全員が共有している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員が一緒になり食事の準備、後片付けなどをし、食事中はさりげなく見守り、和やかな雰囲気の中での食事である。また、毎週日曜日には調理の段階から職員と利用者が一緒になり三度の食事を準備し、一緒に同じテーブルで食事している。		
26	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に三回の入浴日を設けているが、利用者の体調や希望を優先し柔軟に対応している。入浴をゆっくり楽しめるよう行事に合わせて、時間を変更するなどの対応もしている。利用者は入浴が楽しみで、現在入浴を拒否している利用者はいない。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家族と一緒に作成したアセスメントシートから生活歴、趣味などを把握し、それらを活かした役割や楽しみごとの支援をしている。趣味で作った作品を、地域の文化祭に出展するなどの取り組みをし、利用者の生活に張り合いが出るように工夫している。		
28	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	体操をした後、敷地内のお地藏さんにお参りをし、散歩するなど日々の日課の他に、ドライブや買い物など外出の機会を多く設けている。また一人ひとりの意向に沿って柔軟に対応している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者、職員共に鍵をかけることの弊害を理解し、極力鍵をかけないように取り組んでいるが、利用者の身体の安全を守ることを最優先し、やむをえない時のみ鍵をかけることもある。鍵をかける際はなるべく音を立てないなど、利用者の心理面に与える影響を考えて支援している。		
30	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は地域の消防団も参加して年二回実施している。職員はポケットマニュアルを携帯し、災害時にはすぐに対応できるようにしている。安全な避難場所も確保されている。夜間を想定した避難訓練、非常食、水などの備蓄も準備中である。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養の偏りがないよう、必要な栄養が摂取出来るように管理栄養士による献立がたてられている。食事量、水分摂取量も毎回チェックし記録している。水分摂取不足にならないよう、利用者の好みに応じお茶やコーヒーなども用意している。食事中摂取量の少ない利用者にはさりげなくお茶を勧めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先の和風の庭には石灯籠が置かれ手入れの行き届いた庭木が植えられている。中庭を囲むように居室、居間が配置されホームの隅々まで自然の光が差し込むような造りになっている。廊下には長椅子が置かれ壁には手すりが取り付けられている。安全に安心して過ごせるように配慮された居心地の良い空間になっている。		
33	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	和室と洋室がある居室には、壁に絵が飾られ、利用者の馴染みの家具や仏壇などが置かれ居心地よく暮らせるようになっている。要望があれば家族の宿泊も可能である。		